

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和元年 8 月 4 日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

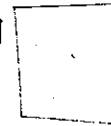
本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	田中一良		
		議員名			
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田哲				
視 察 先	愛知県稲沢市				
調査事項 (調査目的)	稲沢市あじさいまつりについて				
日 時	令和元年 7 月 24 日 (水) 13:00~15:00				
視察先対応者	稲沢市	経済環境部	商工観光課	課長	足立 和繁
		経済環境部	商工観光課	主幹	横井 利幸
		経済環境部	商工観光課		宗宮 千晶
添付資料	<ul style="list-style-type: none">・あじさいまつりパンフレット・稲沢観光ガイドマップ・稲沢市観光ガイドブック・稲沢市議会の概要第・28回あじさいまつり事業計画(案)・28回あじさいまつり実行委員会収支(案)・稲沢あじさいまつり実行委員会規約・稲沢市市勢要覧				

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

稲沢市 “あじさいまつり”

調査日 令和元年7月24日
13時～15時



調査

- ① 大塚性海寺（しょうかいじ）からの提案により、市は観光名所として「大塚性海寺歴史公園」整備し平成4年から“あじさい祭り”を開始した。
今年第28回となる。
- ② 事業資金は、市が350万円、あとは協賛金等で賅っている。
- ③ 無料シャトルバスの運行・駐車場無料・入場料無料等の為か年々来場者が増加している。
・来場者5万4千人、アンケートによれば市内が26,3%、市外から229人、県外からは38人となっている。
一定のシティセールス効果は有るとのこと。
- ④ 写真ブームもあって、写真コンテストには多くの市外からの出品が有り好調である。優秀写真はパンフレットの表紙になるなどメリットもある。
- ⑤ 公園の清掃はシルバー人材センターが、植栽管理は地元の団体に委託している。

課題

- ・無料の臨時駐車場を期間中は提供しているが、期間後の来場者が無断駐車するなど、問題もある。
- ・あじさいの老朽化、土壌に改良、団体の高齢化などの問題がある。

所感

市職員の稲沢市を何とかアピールしたいという思いは伝わってきました。

稲沢市は、「国府宮はだか祭」「いなざわ植木まつり」「いなざわ梅まつり」

「稲沢夏まつり」「そぶえイチョウ黄葉まつり」など祭り、イベントが多く交流人口も増加している。

★稲沢あじさいまつりについては、

- ・継続的な開催の為には、先ずは資金面が弱いと感じました。

臨時駐車場の有料化、来場者の入園料又は寄付を考えては思いました。

- ・次にあじさいの手入れ管理については、有償を充実してはどうかと思いました。折角、樹木医さんも参加しておられるので、広く有志を募ってはどうかと思いました。

なんといっても、職員さんのシティセールスに対する思いは、三田市も勉強になるのではないかと感じました。

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和元年 8 月 5 日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	田中一良	印
		議員名		
派遣者氏名	厚地弘行 田中一良 北本節代 佐貫尚子 中田哲			
視 察 先	愛知県一宮市			
調査事項 (調査目的)	自動運転の取り組みについて			
日 時	令和元年 7 月 25 日 (木) 10 時 00 分～11 時 30 分			
視察先対応者	一宮市 議会事務局 次 長 山田均 総合政策部 政策課 課長補佐 野村秀樹 総合政策部 政策課 主 査 野末朋代			
添付資料	・自動運転の取り組みについて ・一宮市市勢要覧 :一宮市議会概要 ・議会だより138 ・一宮市観光ガイドマップ			

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

一宮市 自動運転の取り組みについて

調査日 令和元年7月25日

10時～11時30分

調査

★一宮市作成の資料

★一宮市の自動運転のきっかけ

愛知県と言えば、トヨタ自動車。

愛知県の平成28年度に自動走行実証実験のエリア募集に参加

県内15自治体が決定した。

未来のクルマ学習会・見学会を平成28年度に実施し、市民への周知

自動走行実証実験を光明寺公園道路にて実施

平成30年度自動運転実証実験（豊橋市・一宮市・常滑市）に2台の車両が同時に走行する実証実験を、5G等を活用し実施

★平成30年度 実証実験

アイリンテクノロジーを中核とする共同体（8社、1大学）

KDDIネットワークセンターの5G通信を使った走行実験と4Gを使った走行実験を同時に行った。

5Gは、現在進行中の通信システムであるため、わずか200Mでの実験であった。

市民の市場モニターも実施した。

所感

日本の高齢化問題等の解決手段の一つと成りうる自動運転は、高齢者の移動手段、過疎地での代替交通手段、自動車事故の減少など効果が期待されています。

愛知県下の市で有るという事で実証実験場となり得たことはよかった。

世界の各地で自動運転の実証実験が行われています。私は、日本が少し遅れているのではと感じていましたが、地道に着々と進められていることを知りました。

まだまだ次世代通信システムである5Gの普及は、世界的問題であり、時間がかかると予想されますが、自動運転は、多岐にわたる問題解決に役立つシステムであることを、改めて感じました。